

TL-2048UCL

接続可能な画像処理装置・画像入力ボード

FVC06

FHC3312

FVC07CLB

サポートする機能

取り込みモード名称 (ファースト呼称)	対応カメラ機能名称	備 考
ノーマル（通常）入力	内部 SYNC 動作	露光時間は変更不可
ランダムトリガ入力	外部 SYNC 動作	露光期間はソフトウェア設定（ライン周期）

各モード共通の設定

カメラの設定はカメラリンク I/F を介したハイパーターミナル等による RS232C 通信にて行います。

ハイパーターミナルによる設定方法は、竹中システム機器株式会社様の

「ラインセンサ仕様書 型式 TL-2048UCL」を参照してください。

コマンド	設定項目	説明
ctrl	Ctrl設定	「1:シリアル通信有効」に設定
expc	露光制御設定	「0:ライン周期モード」に設定

取り込みモードに依存する設定

○ ノーマル入力の場合

コマンド	設定項目	説明
sync	Sync設定	「2:Internal Sync」に設定

○ トリガ入力の場合

コマンド	設定項目	説明
sync	Sync設定	「1:Ext Sync」に設定

その他デフォルトで使用可能です。

詳細な設定方法およびカメラ仕様につきましては、竹中システム機器株式会社様より提供される取扱説明書

「ラインセンサ仕様書 型式 TL-2048UCL」を参照してください。

留意事項

○露光時間

本カメラには、ノーマルモード時の露光時間設定コマンドが2種類あります。

expt : 10.24 μ s 単位で設定 (デフォルト値 0)

explt : 1clk(40ns) 単位で設定 (デフォルト値 37)

どちらも設定した場合、両方の設定値を加算した値が露光時間となります。

explt は、デフォルトが 37 (1.48 μ s) に設定されています。

従いまして、デフォルトのままノーマルモードで取り込むと、

1ライン毎に 1.48 μ s の露光時間が加算されます。

最短時間で取込みたい場合は、この値を 0 に設定する必要がありますのでご注意ください。

○init コマンドを使用した場合

カメラに init コマンドを送信すると、カメラのパラメータが工場出荷設定 (2012年10月12日現在) と異なるパラメータに変更される為、カメラのパラメータを変更する必要がありますのでご注意ください。

コマンド	設定項目	説明
lval	LVALコントロール設定	「1:LVALコントロール有効」に設定
lv_st	LVALスタート位置設定	「10」に設定